

TB12 “TONE BEAST” BLACK

TONE SHAPING MICROPHONE PREAMP



取扱説明書 Ver.1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

安全上の注意

1. 本製品を操作する前に、安全および操作のすべての注意事項をお読みください。
2. 本マニュアルは将来の参照のために保管してください。
3. 装置およびマニュアルに記載されたすべての警告に従ってください。
4. 操作および使用の注意事項に従ってください。
5. 湿った地下室やプールの近くなど、水や湿気の近くで装置を使用しないでください。
6. 清掃の際は乾いた布を使用してください。
7. 換気口を塞がないでください。本マニュアルの指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、または他の発熱装置（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
9. 電源プラグの極性または接地プラグを改造、変更しないでください。
10. 電源コードが踏まれたり、挟まれたりしないように保護してください。
11. 製造元が指定した付属品/アクセサリのみを使用してください。
12. 製造元が推奨したカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルを使用してください。
カートやラックを使用する場合は、転倒による怪我に注意してください。



13. 雷雨の間や長期間使用しない場合は、装置のプラグを抜いてください。
14. すべての修理は販売元に依頼してください。

装置が次のような損傷を受けた場合、修理が必要です。

電源コードやプラグが損傷した場合、液体がこぼれた場合、物が装置に落ちた場合、
装置が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、または落下した場合。

はじめに

この度は Warm Audio TB12 Black マイクプリアンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

TB12 Black マイクプリアンプは、CineMag USA 製の THAT 2180 VCA と出力トランスを含む最高品質のコンポーネントを使用し、すべて手作業による配線と組み立てが行われております。

Warm Audio TB12 Black マイクプリアンプでのレコーディングとミキシングが、皆様にご満足いただけると確信しております。

イントロダクション

Warm Audio の TB12 Black は、同価格帯で最高品質のマイクプリアンプのひとつです。高価なプリアンプで使用される高品質なアメリカ製コンポーネントを採用し、並外れた品質とコストパフォーマンスを実現しています。さらに **Tone Beast** には、通常は複数のプリアンプを用意しなければ得られないような、独自のトーンシェーピング機能が備わっています。そのため、自宅ミュージシャンからプロのスタジオエンジニアに至るまで、入力した音源やミックスを心地よく温かみのある音に変えられる、非常に強力で多用途なプロフェッショナル機材として高く評価されています。

このマニュアルには、TB12 をすぐに使い始めるために必要な情報が記載されています。DAW やマイクの組み合わせは無限にあるため、マニュアルを一通りお読みいただいた後、ご自身で設定を試行し、好みの設定を見つけてください。

各部の名称

フロントパネル



1. MIC（マイクレベル入力（XLR））

ダイナミックマイク、コンデンサーマイク、リボンマイク用入力端子です。また、低レベルのマイク信号を出力する他の機器やデバイスも接続可能です。入力インピーダンスはトーンボタンで 600 Ω または 150 Ω に設定できます（詳細は後述）。

2. INSTRUMENT（Hi-Z インストゥルメント）

入力信号が入力トランス、ディスクリートオペアンプ、出力トランスを含むプリアンプ回路全体を通過します。Hi-Z の信号経路が綿密に設計されているため、楽器もマイクと同様に強力なプリアンプ処理が行われます。フロントパネルにある Hi-Z 入力には、アコースティックギター、エレキギター、ベースギター、キーボード、シンセサイザー、ドラムマシンなど、さまざまな楽器を接続できます。

3. Hi-Z

フロントパネルのフォン入力が Hi-Z モードになり、XLR マイク入力が無効。

4. LINE

バックパネルの TRS ライン入力が LINE モードになり、XLR マイク入力が無効。

	フロントパネル		バックパネル	
	フォン入力	XLR マイク	TRS ライン入力	XLR マイク
Hi-Z ON	Hi-Z	N/A	N/A	N/A
LINE ON	N/A	N/A	LINE	N/A

5. +48V

コンデンサーマイクや XLR 入力を通じて連続的なファンタム電源を必要とする機器に

電力を供給します。音質の劣化を防ぐため、電力は一定レベルで供給されます。

6. -20dB PAD

入力信号に-20dB が適用されます。これにより、**Tone Beast** への入力レベルが抑えられ、信号のクリッピングや歪みを防ぐのに役立ちます。これは、マイクや他の機器からの出力レベルが高い場合に発生する可能性があります。入力にパッドをかけて、操作時の「ヘッドルーム」を増やし、オーバーロードを防ぎます。

7. POL

信号の位相を反転させます。複数のオープンマイクで録音する際に、マイク間の位相キャンセルを防ぐために使用します。

8. HPF

ソース信号から 80Hz 以下の不要な低域を除去します。

9. DISCRETE AMPLIFIER

このスイッチにより、2つの全く異なるディスクリートアナログオペアンプの間で選択できます。ひとつは、一般的な **2520** スタイルのオペアンプの前身である、クラシックな **Melcor 1731** スタイルのディスクリートオペアンプの回路図に基づいて設計されています。もう一方には、よりモダンでリニアな特性を持つ **Jensen 918** の再現版が搭載されています。**1731** は、オーバードライブ時により早くビンテージなトーンを生み出し、個性的なブレイクアップが特徴です。一方、**918** はどの設定でもリニアで透明感があり、サチュレーションまで駆動できます。

どちらのオペアンプもソケットに装着され、クラシックな **2520** の 6 ピンフットプリントを使用しているため、はんだ付け不要で簡単に取り外しが可能です。好みのオペアンプに交換できます。市場には、ディスクリートタイプだけでなく、非ディスクリートやハイブリッドタイプも含め、多様なオペアンプが揃っており、非常にクリーンで高性能、豊かで個性のあるものまで、さまざまな音質が選べます。オペアンプが標準の **2520** ピン配置に準拠し、標準の $\pm 16V$ で動作できる限り、**TB12** で問題なく使用できます。また、弊社のディスクリートオペアンプの再現度は非常に高いため、**TB12** を「アップグレード」する必要を感じません。オペアンプの交換により、主に異なるトーンオプションやリアリズムの違いを試して楽しめます。

10. +6dB TONE

このコントロールにより、入力トランスフォーマーの構成を 1:4 (昇圧) 巻線比から、より急な 1:8 (昇圧) 巻線比に切り替え、入力トランスフォーマーとディスクリートオペアンプの双方から、より深いカラーリングとインパクトを引き出します。この設定をオンにすると、**Tone Beast** の入力インピーダンスは 150 オームとなり、オフにすると 600 オームになります。150 オーム (オン時) の設定では、**Tone Beast** のゲインが+6dB 上昇し、最大ゲインが+65dB から+71dB に変わります。この機能により、ほとんどのマイクや楽器で顕著なトーンの変化が感じられます。この機能は、マイク、ライン、Hi-Z 入力すべてに影響し、最終的にすべての入力信号が影響を受けるコンポーネントを通過するため、すべてのソースに適用されます。600 オームのインピーダンス設定はコンデンサーマイクやダイナミックマイクの使用に推奨され、150 オームはリボンマイクに推奨されます。このスイッチが「Tone」とラベル付けされているのには理由があり、多くのリスナーにとって、通常設定ではよりオープンで自然な音に感じられ、オンの設定ではよりパンチがあり、アグレッシブまたは厚みのある音に聞こえます。オンの設定は、**TB12 Black** のインスピレーション元となったビンテージコンソールのプリアンプの配線方法に非常に近いものです。一方で、オフの設定は、ほとんどの他のソリッドステートプリアンプの標準的な配線に似ています。すべての音源で両方の設定を試し、録音に最適なトーンを見つけてください。最終的には耳で判断し、状況に応じた最適な設定を選択してください。

11. VINTAGE CLEAN CAPACITORS

このスイッチにより、回路内の 2 つのコンデンサーを切り替えます。「ヴィンテージ」設定ではタンタルコンデンサーが、「クリーン」設定では電解コンデンサーが使用されます。**Tone Beast** が提供するトーン機能の中でも、これは最も微妙な変化をもたらしますが、処理対象の音源によっては多くの人がその違いを感じ取れるでしょう。

12. -8dB BYPASS

この機能により、回路からニッケルおよびスチールコアのトランスフォーマーが取り除かれます。キャラクターを抑えたり、より透明な信号を求める場合にこのオプションを使用してください。このスイッチをオンにすると、信号は 8dB 減衰します。

13. STEEL NICKEL OUPUT TRANSFORMER

この機能により、2種類の異なるトーンと構造を持つ **CineMag** 製の出力トランスを切り替えられます。スチールコアトランスは「ビンテージ」感が強く、ミッドが前に出るトーンが特徴です。一方、50%ニッケルコアトランスはスチールよりも「クリーン」なトーンで、**Tone Beast** 専用に **CineMag** がカスタム設計しました。このニッケルバージョンは独自の積層方法を採用しており、信号に対してよりリニアな特性を持たせています。

14. GAIN

ゲインコントロールは可変式で、**Tone Beast** のゲインを+29dB から+65dB まで調整できます。「**Tone**」スイッチをオンにすると、範囲が+35dB から+71dB に増加します。また、「**Pad**」機能をオンにすると、最小および最大のゲイン範囲が-20dB ずつ減少します。

15. OUTPUT

このノブは、**Tone Beast** から出力される信号のレベルを制御します。増幅された信号が **TB12 Black** を出た後に過大音量になって、ユーザーのインターフェースや次の機器の入力をオーバーロードさせないように調整します。また、ユーザーがプリアンプのゲインを強めに駆動させて、さまざまな設定でより豊かなカラーリングやトーンシェーピングを実現できます。

16. POWER ON

電源スイッチは、ユニットの電源をオン/オフするために使用します。電子機器の寿命を延ばすため、使用していないときは **Tone Beast** の電源をオフにしてください。

バックパネル



17. IEC 電源コネクター

付属の IEC 電源ケーブルを接続します。

18. 電圧インジケータ

設置場所に適した電圧が表示されているか、再度確認してください。

19. GRD (アース) および FUSE (1A)

20. OUTPUTS (バランス出力 XLR、TRS)

+4dB バランス出力は、XLR と 1/4 インチ TRS 接続です。1/4 インチ TRS 出力にアンバランスの 1/4 インチケーブルを使用することで、アンバランス動作も可能です。ただし、両方の出力を同時に使用することは推奨しません。

21. INSERT RECEIVE SEND インサート (センド&リターン)

この入力と出力は、コンプレッサーや EQ などの他機器を Tone Beast 回路の途中に挿入できるよう設計されています。これらの接続により、入力トランス、PAD、POL、TONE、ディスクリートアンプの選択後、出力トランス前の位置に外部機器の信号が組み込まれます。TB12 Black のセンドおよびリターン接続は分離されていますが、アンバランスで+4dB ラインレベルで動作します。アンバランスの 1/4 インチパッチケーブルの使用を推奨します。

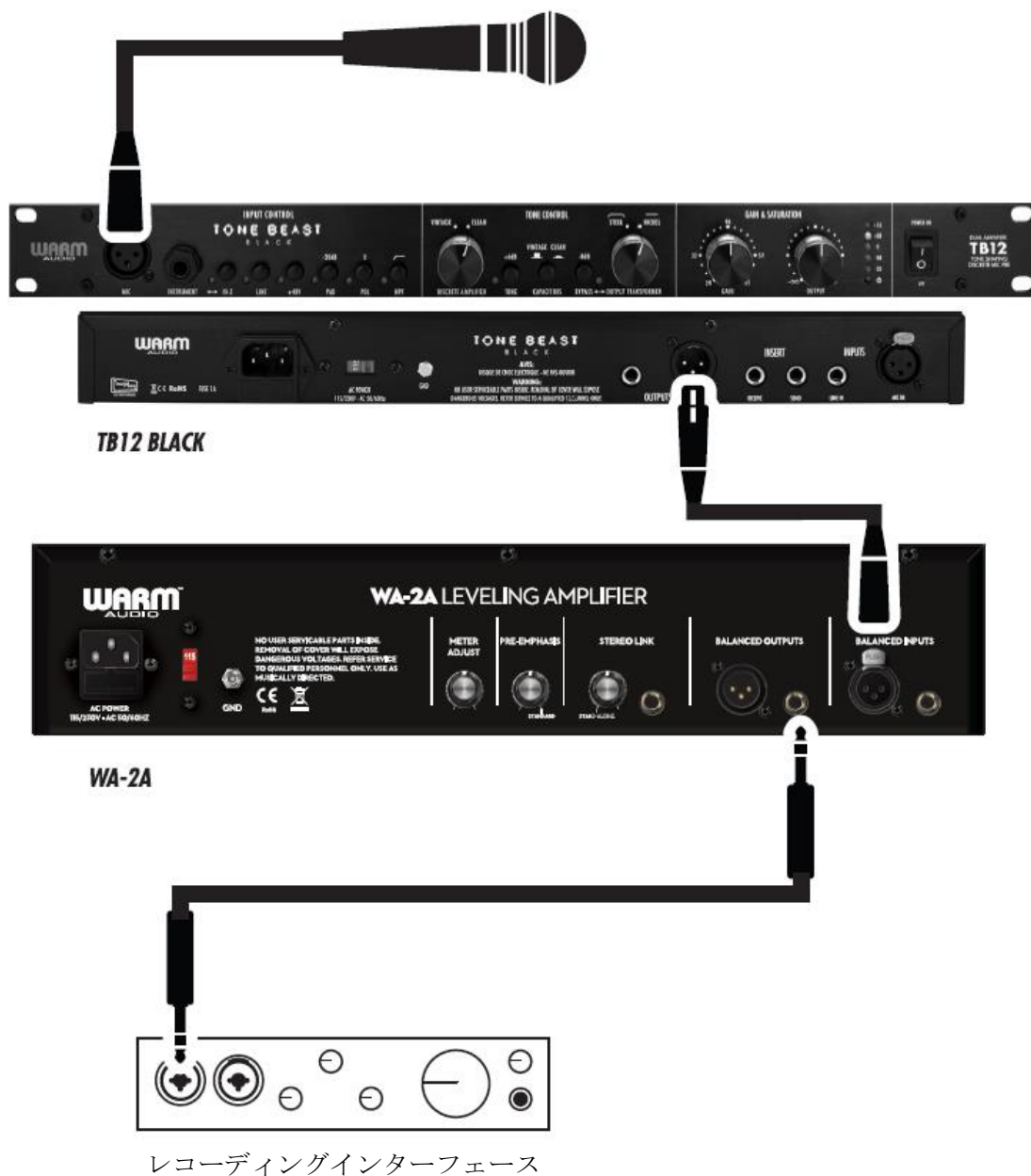
22. LINE IN

この TRS 入力には-25dB のパッドがかかっており、キーボードやエレクトリック楽器、オーディオインターフェース出力など、ラインレベル信号を出力する機器に対応しています。

23. MIC IN

この入力、ダイナミックマイク、コンデンサマイク、リボンマイク用に設計されています。他の楽器や、低レベルのマイク信号を出す機器も、この入力に接続できます。入力インピーダンスは、600 オームまたは 150 オームに設定できます。

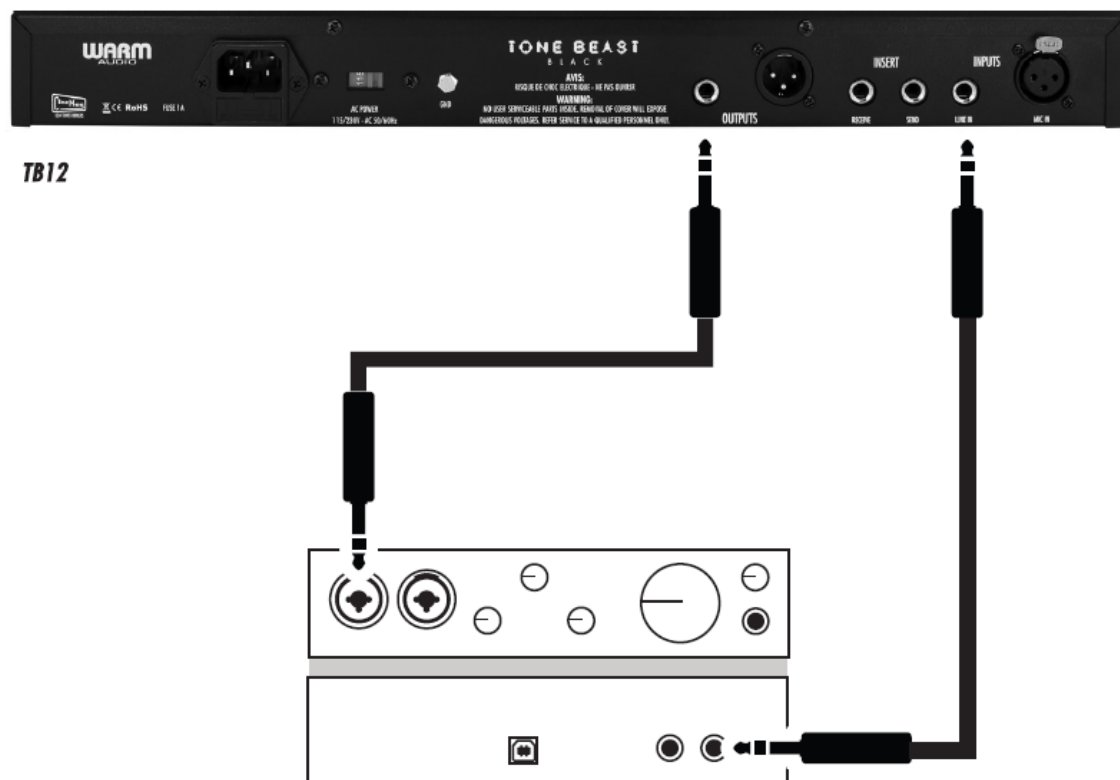
接続



この例では、マイクが **TB12 Black** に入力され、そこからバランス XLR パッチケーブルを通じて **WA-2A** に接続され、さらに **LINE** レベル入力で録音インターフェースまたはレコーダーに送られます。

注意

録音デバイスにはマイクまたはインストゥルメント・レベル入力ではなく、必ずラインレベル入力を使用してください。



レコーディングインターフェース

この例では、TB12 Black はレコーディング機器へのインサートとしてルーティングされています。これは、TB12 Black を「アナログ・プラグイン」またはミックスダウンのインサートとして使用する際に便利です。レコーディング機器はライン出力経由でバランス 1/4 インチケーブルを使用して TB12 Black に接続されています。次に、レコーディング機器はラインレベル入力された TB12 Black をキャプチャします

TB12 Black は、ラインレベルプロセッサとして使用し、ラインレベル信号を「ウォームアップ」したり、飽和させたり、意図的に歪ませたりして、有効に活用できます。他のラインレベルデバイスや他のプリアンプの後段に使用して、同様のエフェクトを得られます。

仕様

- プレミアムグレードの CineMag USA トランス採用
- 71 dB ゲインを使用
- トランスの選択により、特性の異なるスチール製および 50%ニッケル製 CineMag 出力トランス、両方を提供
- トランスのバイパススイッチにより、出力トランスフォーマーを回路から取り外し可能
- ディスクリート・オペアンプの選択により、1731（ヴィンテージ）または 918（クリーン）スタイルのオペアンプを選択可能。2520 の 6 ピンフットプリントに対応したオペアンプをソケットで差し替え可能
- 「TONE」とラベル付けされたインピーダンス・スイッチにより、150 オームと 600 オームの入力インピーダンスを切り替え可能
- フロントパネルには $2M\Omega$ の True Hi-Z 入力があり、楽器信号を Cinemag トランスと ディスクリート・オペアンプを含む全回路に接続可能。ギター、ベース、キーボードなど、1/4 インチ出力ジャックを備えた楽器に最適
- タンタルと電解コンデンサーの選択により、異なる信号特性を実現
- 80Hz のハイパスフィルター搭載
- 極性反転機能搭載
- +48V ファンタムパワー搭載
- 出力減衰により、オペアンプとトランスの両方を用途に合わせて柔軟に飽和が可能
- インラインコンプレッサー、EQ などのインサート用フォン入力搭載
- バランス XLR マイク（フロントおよびバック）、バランス TRS ライン、4 インチ楽器入力 搭載
- バランス XLR および TRS 出力 搭載
- -20db パッド搭載
- LED VU メーター搭載
- 19 インチラックマウント可能。